

MeetingPlace for Outlook のオンサイトでのインストールとアップグレード

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[オンサイト作業の開始前に確認すべき項目](#)

[通知テンプレート、カスタマイズ、ホット フィックス](#)

[リモート インストール](#)

[追加の通知ゲートウェイ](#)

[必要な情報の入手](#)

[インストールの開始](#)

[インストール後に確認すべき項目](#)

[基本機能のテスト](#)

[通知テンプレート、カスタマイズ、ホット フィックス](#)

[設定](#)

[Microsoft Structured Query Language Server](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、サイトに進む前、オンサイト作業の開始前、および Cisco MeetingPlace for Outlook のオンサイト作業の終了後に使用する確認手順の概要を説明します。

Microsoft Outlook 5.3 と Outlook 4.3 の違いは次のとおりです。

1. Microsoft Outlook 5.3 では、Cisco MeetingPlace ビデオ会議をスケジュールして参加できません。
2. Microsoft Outlook 5.3 は Cisco MeetingPlace を現在ご利用のお客様に対し、Microsoft Windows 2003 サーバのサポートを提供します。注: Cisco MeetingPlace の新規のお客様は、Cisco Media Convergence Server を使用します。
3. Microsoft Outlook 5.3 には新しいユーザ インターフェイス カスタマイズ ツールがあります。

前提条件

要件

1. 要件の詳細については、『[Cisco MeetingPlace for Outlook \(リリース 5.3.0 \) リリースノート](#)』を参照してください。注: 新規インストールの場合、お客様は Cisco Media Convergence Server を使用している必要があります。
2. Cisco MeetingPlace Audio Server バージョン 5.3 以降と Microsoft Outlook のライセンスキーを所有している必要があります。
3. Microsoft Outlook 5.3 と同じマシンに Cisco MeetingPlace Web をインストールしている場合は、Web バージョンが 5.3 である必要があります。
4. Microsoft Outlook 5.3 と同じマシンに Cisco MeetingPlace Web をインストールしている場合は、Web バージョンが 5.3 である必要があります。
5. Internet Information Server (IIS) バージョン 5.0 以降を使用している必要があります。
6. Microsoft Exchange Server が、Cisco MeetingPlace for Outlook ゲートウェイとは別のマシンにインストールされている必要があります。ゲートウェイマシンには、Microsoft Outlook 98、Outlook 2000 Service Pack 3、または Outlook 2003 がロードされている必要があります。予定表通知機能がオフになっていることを確認してください。
7. Outlook 向け Microsoft Collaboration Data Objects (CDO) オプションをインストールしておく必要があります。CDO がインストールされているかどうかを確認するには、[Internet Explorer] > [Tools] > [Internet Options] > [Programs] に移動します。
8. Microsoft Exchange Server と Cisco MeetingPlace for Outlook ゲートウェイが同ドメインのメンバーである必要があります。
9. Microsoft Exchange Server 5.5 Service Pack 4、Exchange 2000 Service Pack 2 以降のバージョン、または Exchange 2003 がインストールされており稼働していることを確認する必要があります。
10. Cisco MeetingPlace for Outlook ゲートウェイでドメイン ユーザ アカウントとパスワードが設定されていることと、Exchange エイリアスがユーザ アカウントと正確に一致していることを確認します。注: このアカウントは、Cisco MeetingPlace for Outlook ゲートウェイが Microsoft Exchange Server にログオンするために使用します。
11. Cisco MeetingPlace for Outlook ゲートウェイが Microsoft Windows 2000 Server および Advanced Server オペレーティングシステム (Service Pack 3 以降) または Windows 2003 Enterprise エディションにインストールされていることを確認します。
12. このコンピュータのデフォルトのメール クライアントを Microsoft Outlook に設定する必要があります。
13. RAM とハード ドライブの容量をメモしておきます。

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[オンサイト作業の開始前に確認すべき項目](#)

オンサイト作業を開始する前に、次の手順を実行します。

1. このドキュメントの「要件」セクションと、『[Cisco MeetingPlace for Outlook \(リリース 5.3.0 \) リリース ノート](#)』を読みます。
2. アップグレードを予定している場合は、バージョン間の違いを確認します。
3. Microsoft Outlook のスケジュール タブにリストされる顧客のフィールドを確認します。
4. お客様が Microsoft Outlook で NT 認証を設定しているかどうかを確認します。該当する場合は、『[アドミニストレーション ガイド](#)』の第 3 章の手順を確認します。
5. 従業員に対し新しいプラグイン バージョンのインストールを義務付ける予定であるかどうかと、このバージョンのロールアウトの予定について、お客様と協議します。
6. インストールまたはアップグレードの完了後に、インストールまたはアップグレードをテストするための少数の従業員がいることを確認します。
7. お客様に Microsoft Outlook のトレーニング資料を提供し、ロールアウト プロセスについて協議します。

[通知テンプレート、カスタマイズ、ホット フィックス](#)

インストールに先立ち、次の手順を実行します。

1. 現在の Cisco MeetingPlace for Outlook 4.2.7 通知テンプレート (MPMessages.rtf、MPMsgRsvl.rtf、NotifySchedule.tpl、NotifyReSchedule.tpl) のバックアップを作成します。これらのテンプレートはアップグレード プロセス完了後に再適用します。新規インストールの場合、または Cisco MeetingPlace for Outlook 4.2.5 からのアップグレードの場合は、Microsoft WordPad で 5.3 テンプレートを手動で編集します。古いテンプレートを再利用しないでください。テンプレートを編集するときには [Cut and Paste] を使用しないでください。
2. 新規インストールとアップグレードをカスタマイズする場合は、Cisco MeetingPlace Customization Services で計画します。
3. 関連する[ホットフィックス \(登録ユーザ専用 \)](#) をダウンロードします。

[リモート インストール](#)

リモート インストールには、Virtual Network Computing (VNC) と Symantec pcAnywhere を使用します。ターミナル サーバは使用しないでください。

[追加の通知ゲートウェイ](#)

Cisco MeetingPlace for Outlook バージョン 5.3 ゲートウェイを新規にインストールする場合は、同じマシンにインストールされている既存の通知ゲートウェイ (電子メール、Simple Mail Transfer Protocol (SMTP)、Lotus Notes など) をすべてアンインストールしてください。別の通知ゲートウェイが別のマシンに存在している場合は、異なる Cisco MeetingPlace メールボックスを割り当ててマッピングしてください。

[必要な情報の入手](#)

次の情報を入手します。

- Cisco MeetingPlace Server のホスト名と IP アドレス。

- ドメイン ユーザ アカウントとパスワード。
- Cisco MeetingPlace Web ゲートウェイのホスト名と IP アドレス (ゲートウェイが存在する場合)。
- Microsoft Exchange Server のホスト名と IP アドレス。

インストールの開始

次の手順を実行します。

1. Cisco MeetingPlace for Outlook ゲートウェイのアカウントで Windows にログインします。
2. Microsoft Outlook を開き、Messaging Application Programming Interface (MAPI) プロファイルを作成します。
3. 電子メールをテストします。
4. Microsoft Outlook を閉じます。
5. Cisco MeetingPlace for Outlook ゲートウェイ アカウントに「log on as service」権限とローカル管理者権限が付与されていることを確認します。
6. CDO.dll バージョン 5.5.2625.65 以降がインストールされていることを確認します。
7. Cisco MeetingPlace Web 5.3 のインストールを調べ、テストします。
8. HKLM\software\latitude\MeetingPlace for Outlook\InstallLocation でパスを確認します (アップグレードのみ)。
9. インストーラを開き、お客様が指定したドライブにソフトウェアをインストールします。
10. Cisco MeetingPlace for Outlook ゲートウェイ アカウントのドメイン名を求めるプロンプトが表示されたら、短いドメイン名を入力します。たとえば、OpCenter.meetingplace.net ではなく **OpCenter** と入力します。
11. WebHostname1 と WebHostname2 の両方の値を入力します。
12. ConfigClient でオプションを確認します。
13. マシンを再起動します。

インストール後に確認すべき項目

基本機能のテスト

次の手順を実行します。

1. ゲートウェイ イベント ログで Cisco MeetingPlace for Outlook エントリを確認します。
2. Cisco MeetingPlace for Outlook Service を停止して再起動し、このサービスが Microsoft Exchange と Cisco MeetingPlace Server にログオンすることを確認します。
3. Cisco MeetingPlace Web と Cisco MeetingTime から会議をスケジュールし、通知を受信することと通知の正確さを確認します。
4. Cisco MeetingPlace for Outlook プラグインをテスト サーバにインストールし、次の手順を実行します。会議をスケジュールします。[Check Availability] リンクをテストします。参加者を招待します。通知を受信することと通知の正確さを確認します。スケジュールのカレンダーに会議が挿入されることを確認します。[Click to Attend] リンクをテストします。

通知テンプレート、カスタマイズ、ホット フィックス

次の手順を実行します。

1. バックアップした通知テンプレートを復元します (Cisco MeetingPlace for Outlook 4.3 からのアップグレードの場合のみ)。新規インストールまたは Cisco MeetingPlace for Outlook 4.2.5 からのアップグレードの場合は、WordPad を使用してテンプレートを編集し、リッチテキスト形式 (.rtf) で保存します。
2. 関連するホットフィックスを適用します。
3. 該当する場合は、Cisco MeetingPlace Customization Services のカスタム パッケージを適用します。
4. マシンを再起動し、基本機能をテストします。

設定

次の手順を実行します。

1. ConfigClient ですべてのオプションが正しく設定されていることを確認します。
2. パブリック会議とプライベート会議で [Click to Attend] リンクが想定どおりに動作することを確認します。
3. Cisco MeetingPlace Gateway Configuration ユーティリティで、受信箱からメッセージを削除し、無制限に再試行するようにゲートウェイを設定します。このためには、次の手順を実行します。[Start] > [Programs] > [MeetingPlace Applications] > [MeetingPlace Gateway Configuration] を選択します。[MeetingPlace Gateway Configurations] ウィンドウで [Microsoft Outlook Gateway] タブをクリックし、次に [Advanced] タブをクリックします。[Messages] 領域の [Delete Message] オプション ボタンをクリックします。[Gateway Service] 領域で、[Indefinitely] オプション ボタンをクリックします。[OK] をクリックして、[Advanced Configuration] ウィンドウを閉じます。[OK] をクリックして、[MeetingPlace Gateway Configurations] ウィンドウを閉じます。

Microsoft Structured Query Language Server

次の手順を実行します。

1. Microsoft Data Engine (MSDE) /Structured Query Language (SQL) で Service Pack 3 が現在実行されていることを確認する必要があります。注: Cisco MeetingPlace for Outlook ゲートウェイは MSDE を使用します。
2. SQL メモリ使用率を物理 RAM 全体の 25 % に設定します。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)